

4 単元構想図（6時間完了）

授業前の生徒の実態

- ・社会科を、知識を覚える暗記科目と捉えている生徒が多い。
- ・一問一答のような問いには答えられるが、自分の考えを発表することは敬遠する生徒が多い
- ・資料の読み取りが苦手な生徒が多く、知識が断片的で、関係認識が不十分で自分の意見に自信がもてない。

九州地方の自然の特色を調べてみよう。1 / 6

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◎火山が多いから温泉がたくさんある。</li> <li>◎雨量が多いのは台風の通り道になっているから。</li> <li>◎中部地方に比べて雨量が多いのは台風がよく通るから。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎屋久島は海に囲まれているから漁業が盛んそうだ。◎面積が小さいから農業はあまりできそうにない。○縄文杉があって自然が豊か</li> <li>◎台風の通り道になっているから雨量が多い。</li> </ul> |
| △山がたくさんある。△雨量が多い。   | △面積が小さい。△雨量が多い  |

九州地方は豊かな自然に恵まれている。  
どんな産業が発達しているのだろう。

九州地方では自然環境を生かしてどのような産業が発達しているのだろう。2 / 6

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◎鉄道やバスなどの交通手段が発達したから人や物の移動が早くなった。</li> <li>◎温暖な気候を生かして促成栽培がおこなわれている。</li> <li>◎温泉などの自然を生かして観光業も発達している。</li> <li>△宮崎ではピーマンが有名。</li> <li>△沖縄ではパイナップルが有名</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎トッピーなどの高速船や空港も整備されていて観光業が盛ん。</li> <li>◎縄文杉など、自然が豊かで自然を利用して観光客を増やしている。</li> <li>◎人口は少ないけれど観光客が多い。</li> <li>◎世界遺産に登録されてから観光客が急増している。</li> <li>○トビウオ漁が盛ん。</li> <li>△面積が小さいからあまり資源もない。</li> </ul> |
|---|---|

自然があるから産業も成り立っている。  
自然を守る取組にはどのようなものがあるだろう。

自然環境を守るためにどのような取り組みがあるのだろう。3 / 6

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◎サンゴ礁を保全することによって観光資源としても使えるようにしている。</li> <li>○豪雨による土砂の流出を防ぐために土嚢を置いている。</li> <li>○雨による土砂の流出を防ぐために、砂防ダムを作っている。</li> <li>○間伐を行うことで山林を健康に保ち、森林の働きを守っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎森林が荒れないように、登山道に木材で道が作られている。</li> <li>◎登山客のし尿で山が汚れないよう、携帯トイレの持参を呼び掛けている。</li> <li>◎登山客のし尿問題を解決するために、登山道にバイオトイレが設置されている。</li> </ul> |
|---|---|

自然を守ることで人々の生活が支えられている。  
自然環境の保護と観光業は両立できるのだろうか。

屋久島の自然と産業のつながりを調べよう。(マイタイム) 4 / 6

自然保護に関する追究

観光産業に関する追究

屋久島に住む人に関する追究

予想される生徒の考え

- ・屋久島では登山客のし尿問題を解決するためにバイオトイレの設置や携帯トイレの持参を呼び掛けている。
- ・屋久島の島民の多くは観光産業に携わっており、観光産業が衰えると島民の生活が脅かされる。
- ・屋久島は漁業が盛んで、トビウオの漁獲量が高い。それを名物にしようと工夫している。
- ・空港や高速船の整備が進み、以前に比べ観光客が増加している。
- ・登山客の増加により観光業は盛んになったが、それに伴い森林の環境が悪化するなど悪影響も出ている。

屋久島は持続可能に開発できるだろうか(関わり合い) 5 / 6 (本時)

縄文杉への立ち入りは制限すべきだろうか

- |  |  |
|--|--|
| <p>【しない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客が増えたことによって収益も上がっている。環境保全にかけられるお金も増えるはず。</li> <li>・観光客が増えているから島民の生活も成り立つ、観光業なしにはやっていけない。</li> </ul> | <p>【する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産になったことで観光客が増えすぎて森林が荒れている。マナーを守らない人は必ずいるから制限した方がいい。</li> <li>・お金は大切だけれど、</li> </ul> |
|--|--|

屋久島を持続可能に開発するためにはどんなことが必要なのだろう

- ◎環境保全も産業の発達も大切。それをするためにエコツーリズムなどの促進が大切。地道にやっていくしかない。
- ◎縄文杉への立ち入りを制限するなどして、観光地として整備するところと、自然を保護するところと分けることもできる。
- △自然遺産として保護されているなら、きちんとそれを守っていかねばいけない。立ち入りの制限をするべきだ。

自然を守るだけでは上手くいかないこともある。  
九州地方では環境保全と人々の暮らしをどのように両立しているのだろう。

環境保護への思いと取組を知ろう

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◎かつて公害が人の手によって生み出された経験から、再び繰り返さないよう努力をしていくことが大切。何気なく捨ててしまうごみを減らすなど、自分の生活を見直したい。</li> <li>○人の暮らしと環境保全を両立するのは難しいけれど、やれるよう努力していくことが大切。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>△公害は人の手によって生み出されたんだな。</li> <li>△自分が気付かないだけで、人の生活の便利さの裏には様々な問題があるんだな。</li> </ul> |
|---|--|

過去の反省を生かして、『持続可能』な社会を目指しているんだな。  
今の自分の生活が自然環境にも影響を与えているんだ。  
自分の生活を見直したいな。

備考・手だて

- ・九州地方の気候の特色を理解するために各地の雨温図の読み取りを行う。
- ・台風と気候の特色が関連付けられるように台風の通過経路を提示する。
- ・九州地方の地理的特色を理解するために地図帳を使って代表的な平野や火山、島を確認する。
- ・観光客の増加や産業の特色を理解するために、自作資料の読み取り活動を行う。
- ・資料から読み取ったことを整理し、共有するために、KJ法を使用し、資料の読み取り活動を行う。
- ・環境保全について理解するために、砂防ダムやバイオトイレなど取り組みの写真を提示する。
- ・屋久島の自然保護、観光産業、屋久島に住む人の生活について理解を深めるために、インターネットを利用し、一人調べの時間を設ける。
- ・話し合いが促進されるようコの字隊形で話し合いを行う。
- ・環境保全と観光産業の発展が両立できるか考えられるように屋久島の縄文杉への立ち入りを制限すべきかどうか考える。
- ・環境保全と産業の発達の両立をどのように行っているかを理解するために、公害問題を取り上げ、水俣市の取り組みについて考える。

